

本学における感染予防対策について

秋学期の授業開始に当たり、本学に安心して入構できるよう、通常の衛生管理対応に加えて、消毒作業、教室内の換気、飛沫防止対策等を中心に、以下の通り感染予防対策を講じます。(※今後の状況に応じて内容を変更する場合があります。)

1. 体温測定

キャンパス入口付近にサーマルカメラ(非接触型体表面温度測定器)を設置します。キャンパスに到着した際は、案内表示や係員の指示に従い、全員が検温してください。ただし、登校前の自宅においても予め各自で必ず体温測定を励行してください。

2. 消毒

- ① 建物の入口に手指消毒用の消毒液を設置します。
- ② 教室、建物の共用部分及びトイレの消毒を毎日行います。

3. 換気

- ① 本学の空調は、外気を取り入れて空気を交換しながら運転する設備です。
- ② 各教室出入口のドアは常時開放し、換気します。
- ③ 開閉可能な窓がある教室については、窓を常時開放します。
 - ※ 開閉可能な窓がない教室については、教室前後の出入り口ドアを開放し、教室内の換気を強めにして対応します。
 - ※ 雨天等で窓の常時開放が困難な場合は、概ね30分ごとに窓を開ける等、複数回の換気を行います。

4. 飛沫防止

- ① 事務室の窓口カウンターに飛沫防止のための透明ビニールカーテン等を設置し、職員はマスクを必ず着用の上、対応します。
- ② 教室内の密を避けるため、教室収容定員を3割から4割程度に設定します。
- ③ 学生会館食堂の各階のテーブルには、衝立(パーテーション)を設置し、座席数等の制限を行います。
- ④ 各建物内におけるホール等のテーブル・椅子については、座席数等の制限を行います。
- ⑤ 学内各箇所の冷水器の利用を停止します。
- ⑥ エレベータの利用については、密になりやすいため、エレベータ内の人数を制限します。
 - ※ 可能な限り、階段での移動にご協力をお願いします。

5. スクールバス

- ① スクールバスは、乗車定員の7割程度の乗車人数で運行します。運行路線・ダイヤ等は別途お知らせします。
 - ※ 乗車時の人数制限にご協力ください。運転士や整理員の指示に従ってください。
 - ※ 車内ではマスクの着用をお願いいたします。
 - ※ 乗車待ち列のソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。車内では座席も含め人との間隔（1～2m）をあけて乗車するようにしてください。
 - ※ 乗車制限により予定する時刻のバスに乗車できないことが予想されます。登校時は時間に十分な余裕をもってください。
 - ※ 車内での会話は控えるようお願いいたします。
- ② 密閉を防ぐために窓や換気扇を使用し、常時換気を行いながら運行しています。
- ③ スクールバス車内は、消毒作業を毎日実施します。

6. 対面授業の受講に当たってのガイドライン

10月2日（金）から秋学期授業を開始します。次のガイドラインを予めよく確認の上、授業に臨んでください。

「対面授業の受講に当たってのガイドライン」（学生用ポータルサイト(ポタロウ)に掲出中)

- ・タイトル：「秋学期における対面型授業を行う授業科目及び対面型授業ガイドラインについて」
- ・掲出日：8月31日

以上